

# **H28年度歯科診療情報の 標準化に関する実証事業計画案**

**歯科診療情報の標準化に関する検討会(第9回)**

**日時:平成28年6月22日(水)14:00**

**場所:厚生労働省(中央合同庁舎第5号館)**

**公益社団法人 日本歯科医師会**

# 歯科診療情報の標準化 (平成25年度～27年度)

## 25年度

歯牙特徴に基づく**26項目(標準プロファイル)**を策定し、この情報を用いた場合、身元確認において極めて高精度に絞り込みが可能であることを実証

## 26年度

標準プロファイルを基礎とし、意見聴取をもとに考察しながら、標準的な口腔内所見を**階層構造**に整理して再定義し、各項目の意味の明確化と今後の拡張性を確保した(多様な情報粒度に対応可能)

No.	項目	記号	No.	項目	記号
1	乳歯	Dcd	14	全部金属冠(FMCほか)	FMC
2	健全歯	Sou	15	前装冠(HR, MBほか)	HR
3	C1～C3(治療中を含む)	C123	16	HJC, セラミックほか	HJC
4	半埋伏・埋伏	RT	17	支台歯(インプラントも可)	Abu
5	CR充填, セメント充填ほか	CR	18	ボンテック	Pon
6	インレー, アンレー	金属色 In	19	残根・根面版ほか	C4
7	3/4, 4/5冠	歯冠色 InTC	20	欠損	MAM
8	アマルガム充填	AF	21	死後脱落の疑い	MPM
9	部分修	切端・咬合面 IO	22	義歯(人工歯あり)	Den
10	復の高洞・被覆面の	唇側面・頬側面 B	23	インプラント	Impl
11	形態	口蓋側面・舌側面 PL	24	仮歯(TEK, プロビ等)あり	TeC
12	(金属修造物のみ)	近心面 M	25	歯牙あり(状態は不明)	Pre
13		遠心面 D	26	情報なし	Non

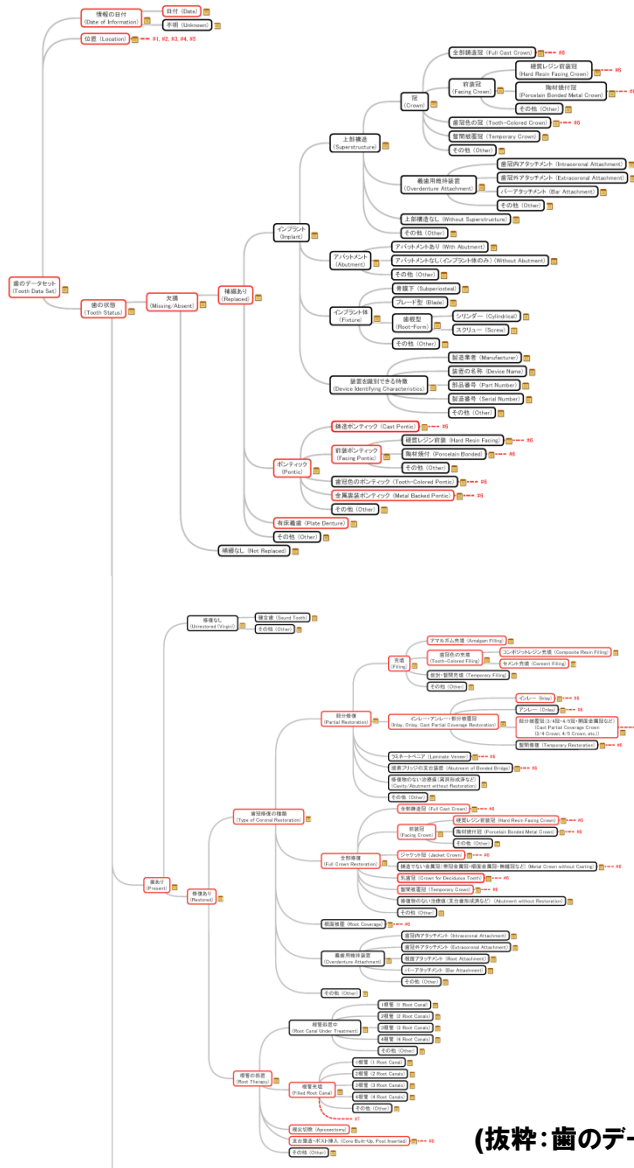
図表1 口腔状態標準データセット 2015.3.24版

The image shows a complex spreadsheet titled '図表1 口腔状態標準データセット 2015.3.24版'. It displays a hierarchical tree structure of dental examination findings. The root node is '口腔状態標準データセット'. Major categories include '歯牙特徴' (Dental Features), '口腔内所見' (Oral Examination Findings), and '口腔外所見' (Extraoral Examination Findings). Under '口腔内所見', there are sub-categories like '歯牙特徴' and '口腔内所見'. The spreadsheet lists various items with their corresponding codes and descriptions, organized in a way that reflects the '階層構造' (hierarchical structure) mentioned in the text. A legend or key is visible at the bottom right of the spreadsheet.

# 歯科診療情報の標準化（平成25年度～27年度）

27年度

災害時等における歯科診療情報消失のリスクを踏まえ、包括的なバックアップとして、より多くの情報を保存することも考慮しながらデータセットを拡張。日本の保険診療をもとに、且つ海外との歯科情報との整合性、互換性も考慮した「**口腔状態の標準データセット**」を策定



(抜粋：歯のデータセット 1/3,2/3)

# 平成28年度歯科診療情報の標準化実証事業（案）

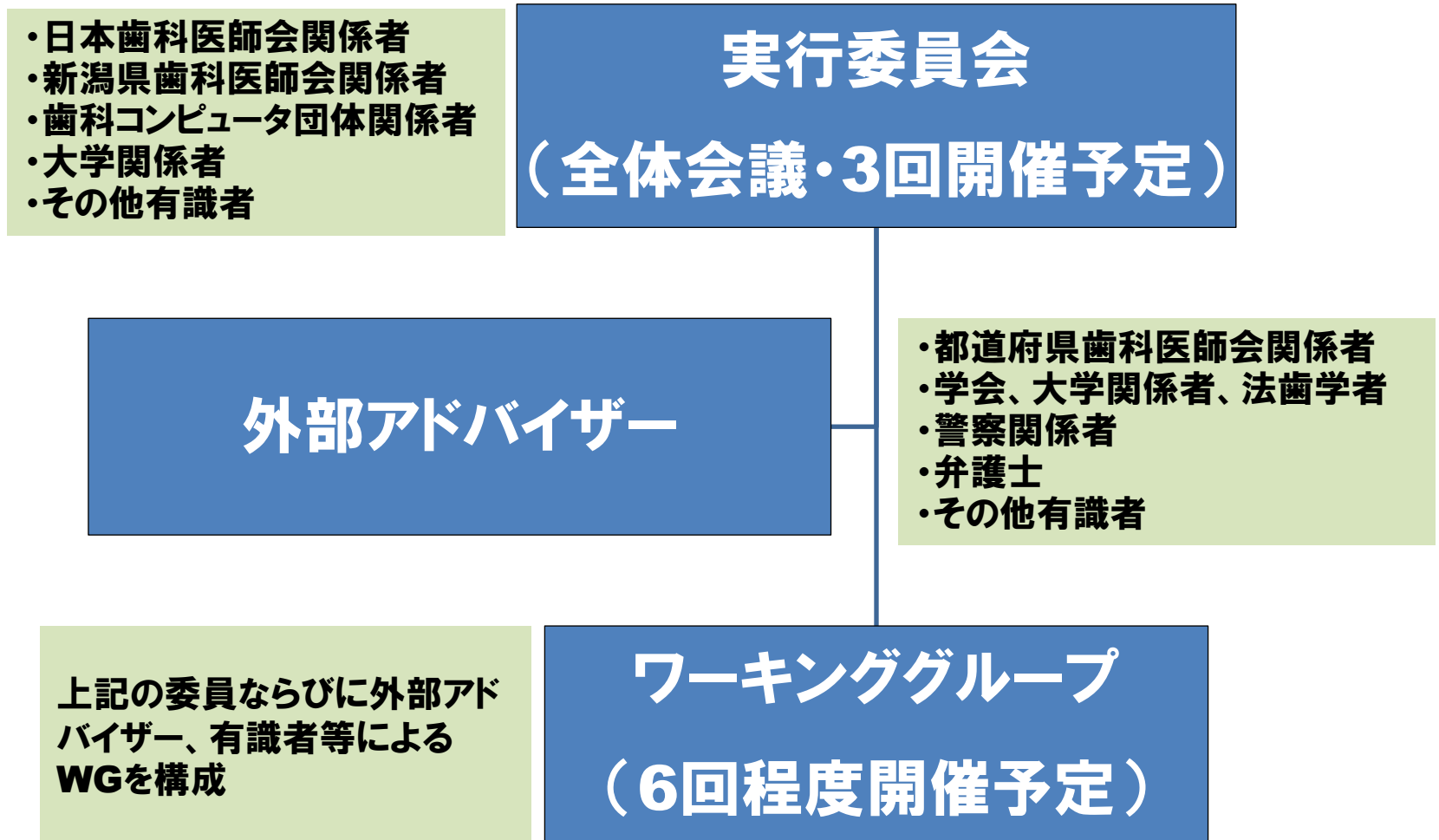
平成27年度までの実証事業をもとに、医科で使われている電子的な診療情報交換の仕組みとの互換性を視野に入れて、事業を実施する。

- ① 厚生労働省標準規格と互換性を保った歯科診療情報のデジタル出力に関する検証
- ② 標準化歯科診療情報の保存方法の検討
- ③ 標準化歯科診療情報の利活用に関する検討

－ 東日本大震災で浮き彫りとなった課題 －

- ① 身元確認を行う為の歯科診療情報の標準化が図られておらず、身元確認に困難を来した
- ② 津波等による歯科医療機関の被災により、歯科診療情報の収集に困難を来した

# 平成28年度歯科診療情報の標準化実証事業体制



# 事業①

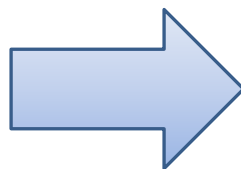
## ① 厚生労働省標準規格と互換性を保った歯科診療情報のデジタル出力に関する検証

### – データ交換規約の作成

- 厚生労働省標準規格(標準歯科病名マスター等)に準拠した交換規約を作成。SS-MIX2形式のデータ出力を目指す。

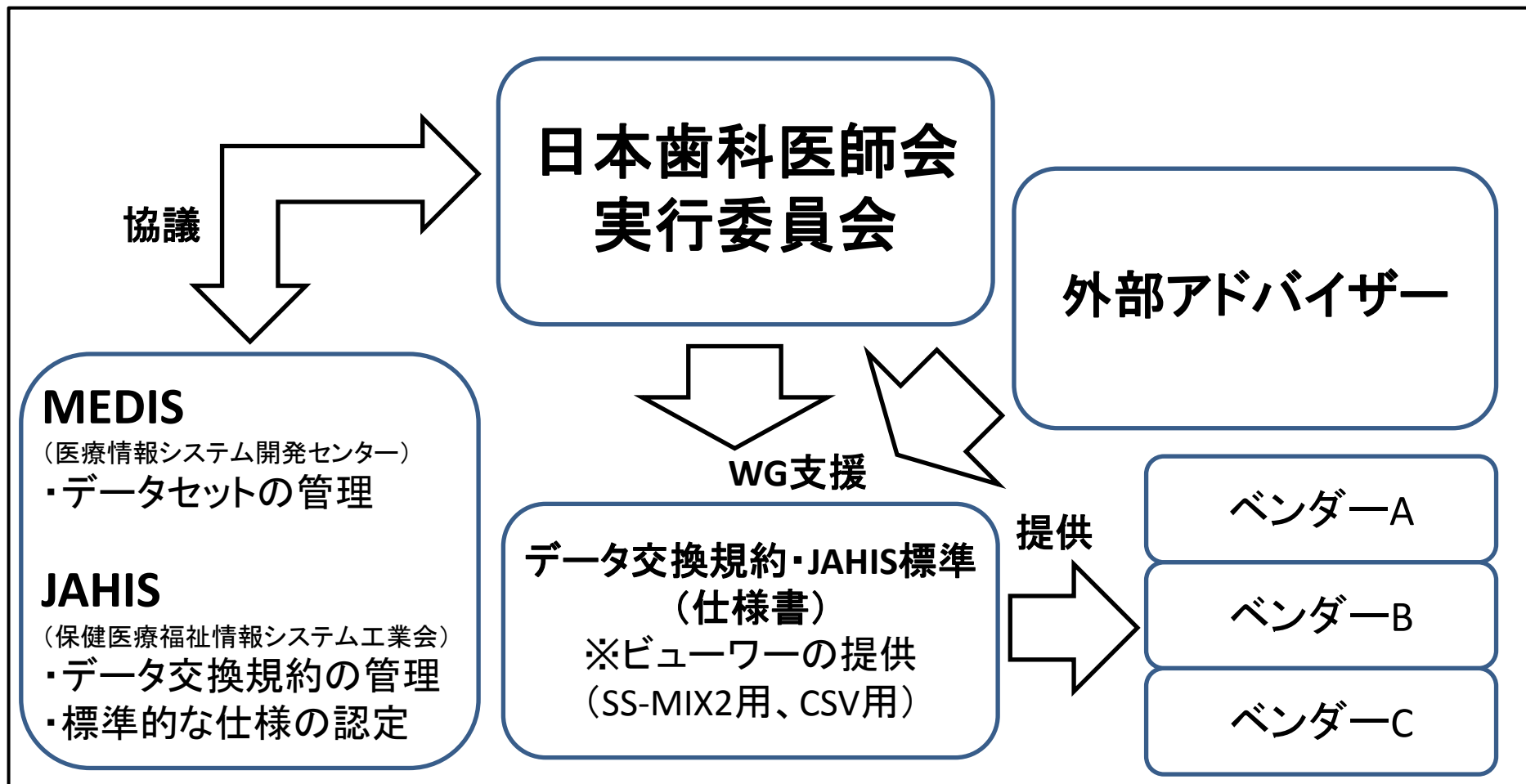
### – データ交換規約の検証と普及

- レセコンでデータ交換規約を検証。ベンダーに配布し、普及させる。



仕様書(口腔状態の標準データセット交換規約)に基づき、SS-MIX2形式でデータ出力

# 口腔状態の標準データセット交換規約策定と検証



- ① MEDIS (データセットの管理) 及び JAHIS (データ交換規約) と協議 (既存規格との整合等)
- ② 上記の協議を踏まえて、データ交換規約・JAHIS標準 (仕様書) を策定
- ③ 仕様書に基づき、データ出力をベンダーが検証 (SS-MIX2用、CSV用ビューワーを提供)

# 事業②

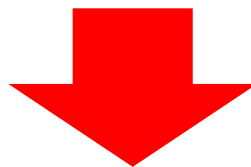
## ② 標準化歯科診療情報の保存方法の検討

### i. データの保存場所（医療機関内及び医療機関外）と保存方法の整理

(1)院内:大規模災害時等により医療機関が被災した場合、保存データが使用可能か

(2)院外:保存データの更新や保管方法、電子媒体の取り扱いについての課題

### ii. その他の検討課題

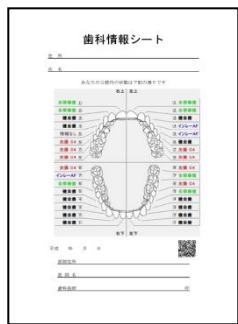
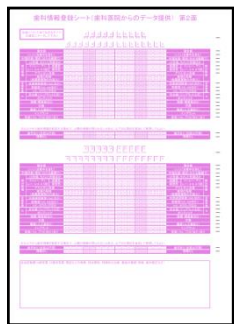


地域の実情に合わせたデータ保存方法の提示

- 地域医療ネットワークの利用
- データ保存用サーバーの設置 など



# 事業③ 標準化歯科診療情報の利活用に関する検討



デジタル歯科情報のお預かり・お渡し



歯科データバックアップ

歯科データベース事業の展開  
地域・医療連携、ICT  
(SS-MIX2等)

標準化

標準化

標準化

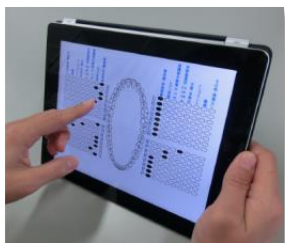
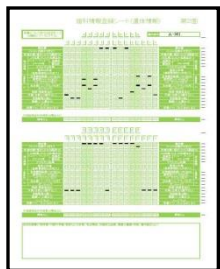
標準化



標準化


標準化

標準化

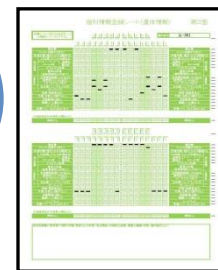


災害・事故等緊急時  
情報提供の迅速化

医科の診療情報との互換性



歯科健診所見の  
デジタル保存



身元不明者の検索  
行方不明者情報提供  
認知症、特異家出人